

国際化学肥料ニュース（2010年4月）

肥料業界動態

- * 4月8日、ベラルーシ政府関係者はベラルーシ政府が Belaruskali 社株式の一部を中国の中国化工化学肥料会社に譲渡する事項を交渉していることを発表した。Belaruskali 社はベラルーシの国営会社で、塩化加里の生産量は世界シェアの 15%、輸出量も世界総輸出量の 16%を占める。

- * 4月上旬、2010年国際硫黄とりん酸肥料フォーラムをブリュッセルで開催された。各国のりん酸肥料関係者約 370 名が出席された。主な話題は
 - ①インドが 2010 年 500 万トンりん酸肥料輸入計画が国際市場への影響
 - ②モロッコ OCP 社が生産能力増強計画を発表し、将来 1000 万トンのりん酸肥料生産能力を持つ。
 - ③サウジアラビア鉱業グループ社は 2010 年から DAP を生産開始、2011 年から輸出、当初の生産能力は 292 万トン、将来は 450～500 万トンに増強する。
 - ④次回の国際硫黄とりん酸肥料フォーラムは 2012 年 3 月 19～21 日にモロッコで開催される予定。

- * IFA（国際肥料工業会）は 2010 年の世界肥料需要予測を発表した。2009 年に比べ、窒素肥料は 3%、りん酸肥料は 7%、加里肥料は 11%増加する。

将来の肥料輸出産地として、中東地域が重要な地位を有することも予測した。2011～2015 年は中東諸国が天然ガス原料の尿素生産量が大幅に増加し、ほぼ全量が輸出に廻す。一方、中東地域にはりん鉱石の埋蔵量が 5 億トン以上、それを利用して、りん酸肥料の生産設備増強が急速に進んでいる。サウジアラビアは 2011 年に 300 万トン DAP を生産輸出する計画、2015 年には DAP、MAP、重過石の生産能力を 550 万トンに増強する。モロッコでは 2017 年までに 500 万トン DAP 生産能力を増設する。アルジェリアは 2020 年までに 4 箇所、エジプトでは 5 年間で 3 箇所の DAP 生産工場を新設する。

- * ロシア政府は加里肥料に 5～6%の輸出関税を徴収することを検討している模様。2008 年 4 月～2009 年 5 月の間に加里肥料に 5%輸出関税を徴収したが、リーマンショックの影響で、2009 年 6 月から撤廃した経緯があった。

- * 3月にインド政府が 2010 年度の国内化学肥料補助金を確定した。それに伴い、4月に一気に主な肥料会社と今年度の肥料輸入基本契約を締結した。インド政府の予測としては、本年度の肥料輸入量は DAP600 万トン、塩化加里 490 万トン（190 万トン契約済

み、価格は CFR400 ドル/トン、300 万トン相談中)

- * 3月、ベラルーシが 61.28 万トン塩化加里を輸出した。去年 3月に 3.3 万トンしか輸出しなかった。今年の塩化加里輸出量は 490～550 万トンと見積もっている。